

インド図書館案内

二宮 文子*

以下の情報は、筆者が2004年1月から2006年7月の間のインド滞在中に得た情報に基づいている。なお、インドの文書館・図書館については、既に真下裕之氏による紹介があり(「インドの図書館案内——イスラーム写本研究のために」『イスラーム世界』52(1999):106-114)、本稿はそれに拠るところも大きいので、あわせて参照されたい。

以下で紹介するインドの図書館を訪問する際には事前連絡の必要はない。また、観光ヴィザ所有者でも図書館は利用できる。

特に大学図書館では、本の不法帯出防止のため入館時に鞆の持ち込みが許されないことが多い。鞆を預ける場所はあるが出入り自由で鍵などないので、貴重品は小さな袋などにまとめて持ち歩けるようにしておくことをお勧めする。また、大学図書館ではアラビア文字(アラビア語、ペルシア語、ウルドゥー語)写本の担当者(責任者)が1人だけで、何らかの事情で担当者が不在だと仕事が全く進まないことがあるが、この点は予測不可能であるため運を天に任せるしかない。

基本的に、多くの図書館は祝日は休館である。祝日の日付けは毎年変わるので、事前に調べておく方がよい。なお、「開館時間」として記しているのは写本資料が閲覧できる時間帯であり、石版本などの印刷物の閲覧室はさらに長時間開いている場合もある。

刊行されているカタログ類については、これまでの紹介で言及されていないと判断されるものの書誌を掲載した。

なお、近年、インド政府の主導の下にインド国内の写本のデータ収集、修復事業が進行中である(<http://namami.nic.in/>)。ただし、アラビア文字写本の優先度はやや低いように見受けられる。また、カタログ化やデータの公表などにもまだ時間はかかりそうである。

※ ニューデリー

以下の施設の詳細な場所に関しては、ニューデリーの都市地図「Eicher City Map」も参照されたい。

(1) ジャミア・ミリヤ中央図書館 (Dr Zakir Husain Library, Jamia Millia Islamia)

住所: Jamia Millia Islamia, New Delhi - 110 025

電話番号: 011 - 26984190 (Direct), 26981717, 26988044, 26984075, 26985176

FAX: 011 - 26982360

E-mail: librarian@jmi.ac.in

URL: <http://jmi.nic.in/ZHL/ZHlibrary.htm>

開館時間: 月-木曜日、土曜日 9:00-17:30 (昼休み 13:00-14:00)

金曜日 9:00-17:30 (昼休み 12:00-14:30)

* 写本部は土日は閉室

刊行写本カタログ: *A descriptive catalogue of Persian manuscripts* vol. 5: Dr. Zakir Husain Library, Jamia Millia Islamia (ND). New Delhi: Iran Culture House, 1999.

* 京都外国語大学 非常勤講師

ジャミア・ミリヤ大学はニューデリー市の南東部に位置する。交通手段としては、バス、地下鉄とオート・リキシャの組み合わせが便利。3,000点ほどの写本があり、そのほとんどがペルシア語、次いでアラビア語、ウルドゥー語が多い。ペルシア語写本1,600点余りについてはカタログが出版されている。ただし、2006年以降写本の修復と再整理作業が行われているため、一部の写本は閲覧不可能である。石版本のコレクションもあり、こちらは容易に閲覧できる。

(2) ジャミア・ハムダルド中央図書館 (Hakim Mohammad Said (HMS) Central Library, Jamia Hamdard)

住所: Hamdard University, Hamdard Nagar, New Delhi - 110062

電話番号: 011-26059688 extn. 5800 and 5801

FAX: 011-26059663

URL: <http://www.jamiahamdard.ac.in/facilities/library.htm>

開館時間: 月 - 土曜日 11:00-17:00 (昼休み 13:00-14:30)

日曜休館

*写本以外は9:00から閲覧できる

刊行写本カタログ: *A descriptive catalogue of Persian manuscripts vol. 4: Jamia Hamdard* (ND). New Delhi: Iran Culture House, 1999.

ニューデリー市の南部、トゥグルカーバード地区にあるジャミア・ハムダルド大学の図書館。アクセスはバスか、地下鉄、オート・リキシャの組み合わせをお勧めする。4,400点以上のペルシア語、アラビア語、ウルドゥー語の写本が所蔵されており、そのうち1,700点余りのペルシア語写本のカタログが出版されている。ハムダルド大学は医学・薬学に長じており、関連分野の写本が多い。しかし、ここも2006年以降写本の修復作業が行われており、閲覧不可能な写本がある。

(3) ノール・マイクロフィルムセンター (Noor Microfilm Center, Iran Culture House)

住所: 18 Tilak Marg, New Delhi - 110001

電話番号: 011 - 23383116

FAX: 011 - 23389922

E-mail: Info@noormicrofilmindia.com

URL: <http://www.noormicrofilmindia.com/>

開館時間: 9:00-16:00

木、土、日曜日は休み

在ニューデリー・イラン大使館に併設されている文化センター。アリーガル大学やグジャラートの私設図書館など、インド国内の幾つかの図書館に所蔵されている、10,000点近いペルシア語写本のマイクロフィルムを収集している。近年はアーンドラ・ブラデーシュ州政府東洋写本図書館の写本のデジタル化も行っている模様。ただし、当然ながら図書館に所蔵されている全ての写本をマイクロフィルム化しているわけではなく、マイクロフィルム化された写本の選定基準は不明である。詳しくはオンライン・カタログを参照されたい。マイクロフィルムは自由に閲覧でき、CD-R作成(有料、料金後払い)も申し込めるが、仕事を進めてもらうためには数日通いつめる必要があるだろう(筆者は未だ受け取りに成功していない)。また、ここでは主にイランで出版されたペルシア語刊本のコレクションも閲覧できる他、ジャミア・ミリヤ、ジャミア・ハムダルド他に所蔵されているペルシア語写本カタログや、アリーガル大学出版会から出版された一部のペルシア語テキストなどが購入できる。

(4) インド国立文書館図書館 (National Archives of India (NAI) Library)

住所：National Archives Annexe, Janpath, New Delhi - 110001

URL：<http://nationalarchives.nic.in>

開館時間：平日 9:00-20:00

土曜日 9:00-17:30

日曜休館

ここで写本の閲覧や資料のコピーをするには、所定の書類 (<http://nationalarchives.nic.in/forms.htm>) に所属機関からの紹介状、在インド日本大使館からの紹介状を添えて提出する必要がある。1度閲覧資格を獲得すれば、手続き後1年間は有効。資料のコピーには1枚6ルピーかかる (2005年時点)。この建物の裏側には Archaeological Survey の図書室があり、そこにも多少のアラビア文字文献が所蔵されている。

※ ハイデラーバード

(5) アーンドラ・プラデーシュ州政府東洋写本図書館 (Government Oriental Manuscripts Library and Research Institute)

住所：Osmania University Campus, Hyderabad - 500007, Andhra Pradesh

開館時間：10:30-17:00

第2土曜日と毎週日曜日は休館

オスマニア大学の敷地内にある資料館。大学の中心地からはやや離れている。アラビア語、ペルシア語、ウルドゥー語の他、テルグ語やサンスクリットの写本も閲覧できる。閲覧室にはタイプ打ちされたカタログがあるが、所蔵写本23,000点あまりのうち、どの程度カバーされているかは定かではない。ちなみに、ハイデラーバードの人々は全体的にのんびりしており開館時間に出勤してくるのが当たり前なので、こちらも気長に構える必要がある。

(6) オスマニア大学図書館 (Osmania University Library)

住所：Osmania University Campus, Hyderabad - 500007, Andhra Pradesh

電話番号：040-27682256, 27090920

FAX：040-27090920

E-mail：librarian@osmania.ac.in

URL：<http://www.osmania.ac.in/oulwebpage/About%20Library.htm>

開館時間：9:30-16:30 (写本部)

第2土曜日と毎週日曜日は閉室

オスマニア大学キャンパスの中央部にあり、バスのアクセスが良い。利用のためには、身分に応じて年会費を支払い、一時金を預ける必要がある (<http://www.osmania.ac.in/oulwebpage/circulation.html> を参照されたい)。3,100点余りのアラビア文字写本が所蔵されている。

(7) 州立図書館 (State Central Library, Hyderabad)

住所：Begum Bazar, Afzal Gang, Hyderabad - 500012, Andhra Pradesh

電話番号：040 - 24600107

開館時間：10:30-16:30

第2土曜日と毎週木曜日は休館

サーラル・ジャング博物館の対岸の大きなバスターミナルから、ごみごみした道を歩いて10分弱の場所にある。ペルシア語、アラビア語などの刊本のコレクションがあるが、カタログもなく、現在整理中で検索性が非常に悪い。ここで資料を探す際には、懐中電灯と手袋、手ぬぐいタオルの類いが必要。

(8) サーラル・ジャング博物館付属図書館 (Salar Jung Museum Library)

住所: Salarjung Marg, Hyderabad - 500002, Andhra Pradesh

開館時間: 10:00-16:30

第2土曜日と毎週日曜日は休館

博物館の入り口ではなく、建物の東側から入る。博物館の正門右手のインフォメーションにて図書館を利用しに来た旨を告げれば、どこに行くべきかを教えてもらえるだろう。10,000点近いアラビア語、ペルシア語、ウルドゥー語の写本を所蔵しており、閲覧室にはカードカタログがある。

※ アリーガル

(9) モーラーナー・アーザード図書館 (Maulana Azad Library)

住所: Aligarh Muslim University, Aligarh - 202002, Uttar Pradesh

URL: <http://www.amu.ac.in/library.htm>

開館時間: 月 - 木曜日、土曜日 9:45-16:45 (写本部昼休み 13:30-14:30)

金曜日 9:45-12:00

* 写本部は日曜閉室

* ラマダーン中の開室時間は 8:00-14:30

鉄道の駅から、サイクル・リキシャで10-15ルピー程度(2007年時点)。14,000点余りの写本が所蔵されているが、全てのカatalogが出版されているわけではなく、直接訪問してカードカタログをめくるのが一番確実な方法である。手続きをすれば、見開き1枚10ルピーで写本をデジタル化してくれる。CD-Rやフラッシュメモリなどのメディアは各自用意する必要があり、分量にもよるが、デジタル化に要する日数は2-3日みておいた方がよい。アラビア文字の石版本のコレクションもあり、本の状態によってはコピーも可能である。コピーは2006年時点で1枚2.5パイサ(1/4ルピー)。大学の関係者に知り合いがいれば大学ゲストハウスの利用もできるが、宿泊環境はお世辞にもいいとはいいがたい(ただし食事の味は良い)。

(10) アリーガル大学歴史学科図書館 (History Department Library)

住所: Faculty of Social Science, Aligarh Muslim University, Aligarh - 202002, Uttar Pradesh

開館時間: 月 - 土曜日 9:00-20:00 (金曜日は12:00から14:00まで閉室)

モーラーナー・アーザード図書館の正面、社会学部の建物内にある。数百点の写本が所蔵されており、手書きのカタログがある。その他、主に英国に所蔵されている幾つかの写本のマイクロフィルムやロトグラフもあり、カードカタログ化されている。ただし、一部のマイクロフィルムは崩壊しており閲覧できる状態ではない。アリーガル大学にはこの他、神学科やアラビア語学科、ペルシア語学科などの図書室にまとまった書籍コレクションがある。また、社会学部の裏手には出版部の事務所があり、在庫があれば過去の出版物を安価で購入できる。

※ パトナ

(11) ホダー・バフシュ東洋公立図書館 (Khuda Bakhsh Oriental Public Library)

住所：Ashok Rajpath, Patna - 800004, Bihar

電話番号：0612 - 2300209

FAX：pat_kbopl@dataone.in

URL：http://kblibrary.bih.nic.in/

開館時間：8:00-20:00

金曜休館

鉄道の駅からはやや距離があり、オート・リキシャを利用した方が良い。17,000点余りのコレクションがある。出版されたカタログの番号と運用されているカタログの番号が違うので、利用の際にはどのカタログに基づいたかを明確にする必要がある。写本は1日2回、午前10:00と午後12:30にまとめて書庫から出されるので、その時間の前に申し込んでおく。安価で長期滞在したいなら、図書館付属の宿泊施設もある（筆者は未使用なので、宿泊環境の判断は保留）。

※ ランブル

ランブルへは、鉄道デリー駅から Sampark Kranti Express を使うのが便利で確実である（所要時間4時間弱）。Sampark Kranti Express はデリー・ランブル間を毎日1回往復しており、デリー発の便番号（チケットの予約に必要）は5035（2008年現在、16:05デリー発）、ランブル発デリー行の便番号は5036（同、11:20ランブル発）。

(12) ラザー図書館 (Rampur Raza Library)

住所：Hamid Manzil, Fort, Rampur - 244901, Uttar Pradesh

電話番号：595-2325045, 2325346, 2327244

FAX：595-2340548

E-mail：raza-library@nic.in

URL：http://razalibrary.gov.in/

開館時間：10:00-17:00

金曜休館

キラ (qil'a) と呼ばれる旧市街の中にあり、鉄道の駅ないしバス・スタンドからサイクル・リキシャで25-30ルピー程度かかる（2007年時点）。入り口で鞆を預ける必要がある。10,000点以上の写本があり、カタログが出版されているが、利用の際には手書きのカタログでの再チェックを要求される。また、写本利用者のための閲覧室がないのでコンピューター室で写本をめくることになる。ここでは、ラザー図書館の出版物が2割引で購入できる。併設されている宿泊施設の評判は悪くない。ランブルは小さい町なので外国人が快適に滞在できるホテルは少ないが、職員に相談をすればそここのホテルを紹介してくれる。

※ コルカタ

(13) アジア協会図書館 (Asiatic Society Library)

住所：1, Park Street, Kolkata - 700016, West Bengal

URL：http://www.asiaticsocietycal.com/library/index.htm

開館時間：10:00-18:00

日曜休館

地下鉄の路線沿いにあり、交通の便は非常に良い。6,500点余りの写本がある。ここの写本は保存状態が良くないものが多いが、現在一部が修復作業中である。

(14) インド博物館図書館 (Indian Museum Library)

住所：27, Jawarharlal Nehru Road, Kolkata, West Bengal

URL：<http://www.indianmuseumkolkata.org/library.html>

開館時間：10:30-16:30

第2土曜日と毎週日曜は休館

会員制で、利用のためには、研究者なら身分証明証の写しを添え、オンラインないし書面によって申し込みをする必要がある。学生はさらに所属機関からの紹介状が必要。また、年会費として50ルピーを支払う。ここにはアラビア文字の資料は少ないが、特に地元ベンガル関係の書籍に特徴がある研究書のコレクションがある。

(15) 国立図書館 (National Library)

住所：Belvedere, Alipore, Kolkata - 700027, West Bengal

電話番号：033-2479-1381 to 1384

URL：<http://www.nlindia.org/index2.html>

開館時間：平日 9:00-20:00

土曜、日曜、祝日 9:30-18:00

* Independence Day、Republic Day、Gandhi Jayanthi には閉館。

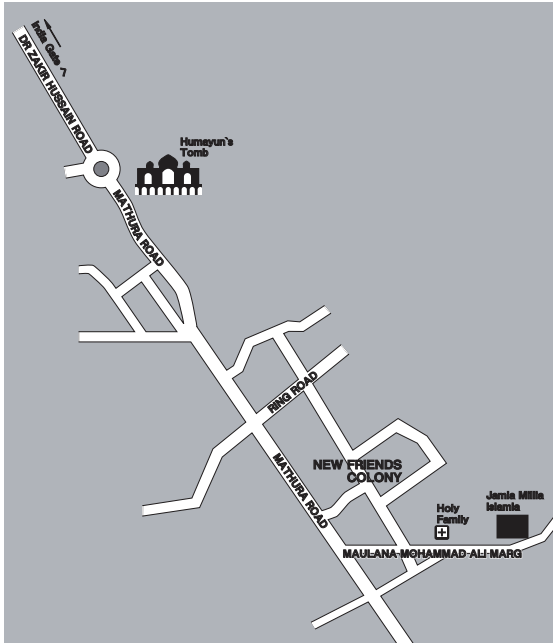
刊行カタログ：*A catalogue of the Persian manuscripts of Sir Jadunath Sarkar collection*, ed. S.M. Hasan, Govt. of India, 1972.

動物園に隣接しており、オートの運転手などへの説明にはそちらの方が通じやすい。有効期間1年で本の借出しができるメンバーになるには紹介状が必要だが、1週間以内で、読書室内での資料参照のみの利用なら一時利用証も発行してもらえる。歴史家 Jadunath Sarkar の個人コレクションであった、200点あまりのペルシア語写本が所蔵されている。このコレクションはムガル朝後期から英領期にかけての写本が主で、特にムガル朝の書簡集が多い。

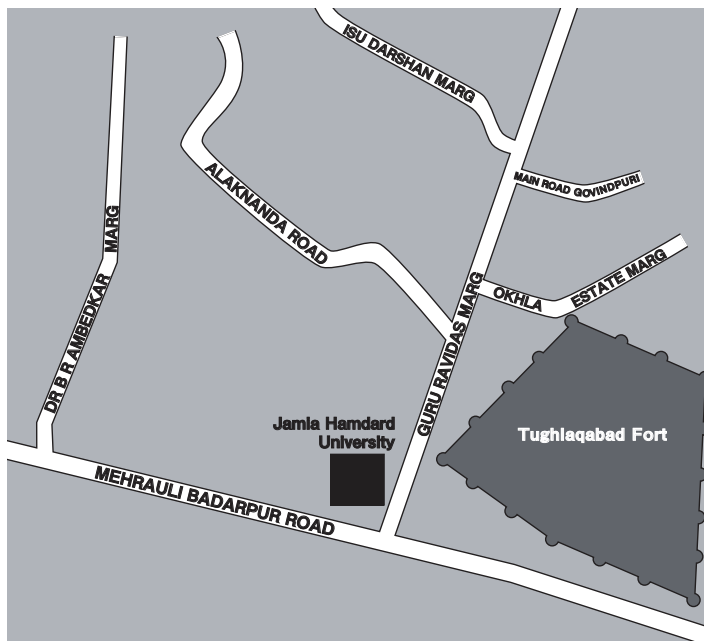
略地図

※ ニューデリー

(1) ジャミア・ミリヤ中央図書館 (Dr Zakir Husain Library, Jamia Millia Islamia)

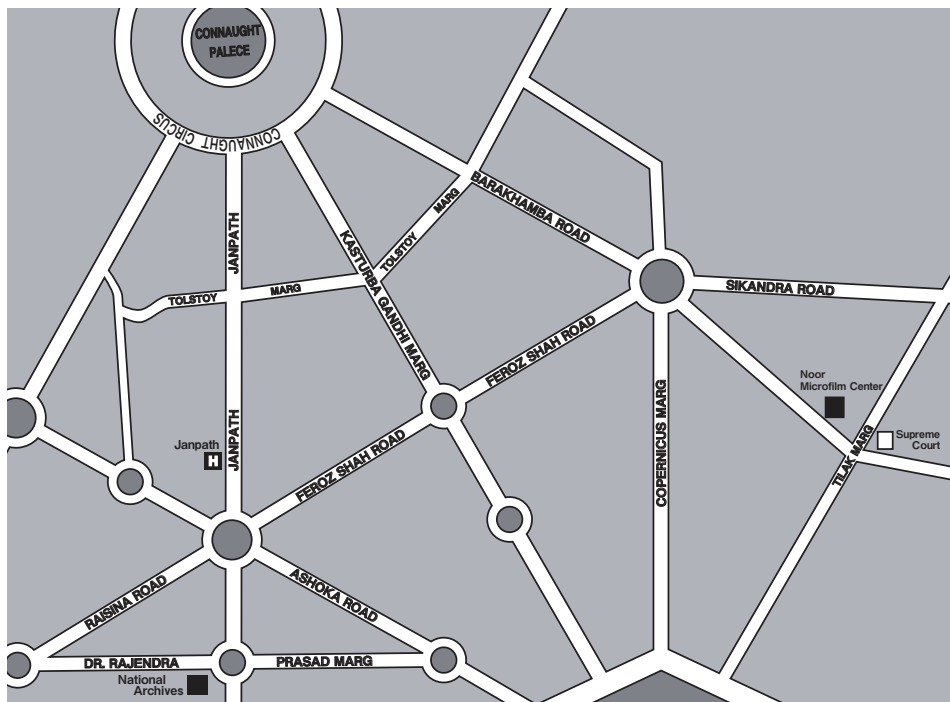


(2) ジャミア・ハムダルド中央図書館 (Hakim Mohammad Said (HMS) Central Library, Jamia Hamdard)



(3) ノール・マイクロフィルムセンター (Noor Microfilm Center, Iran Culture House)

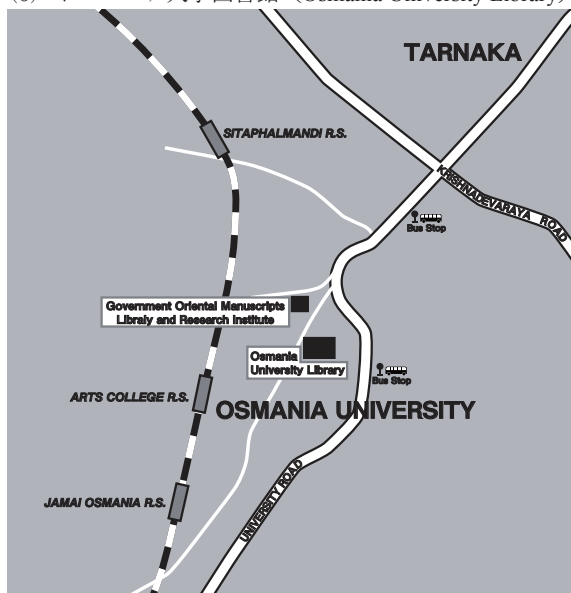
(4) インド国立文書館図書館 (National Archives of India (NAI) Library)



※ハイデラーバード

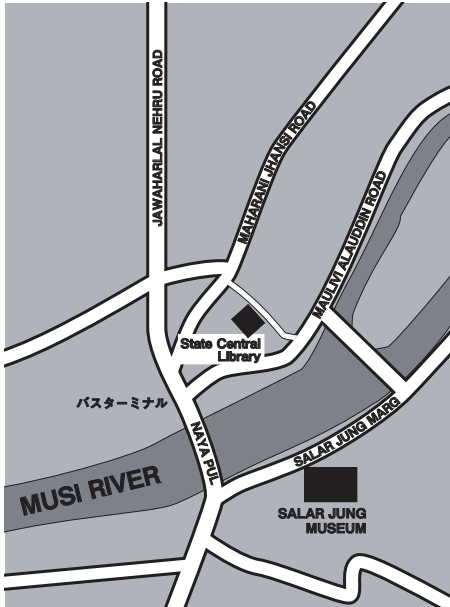
(5) アーンドラ・プラデーシュ州政府東洋写本図書館 (Government Oriental Manuscripts Library and Research Institute)

(6) オスマニア大学図書館 (Osmania University Library)



(7) 州立図書館 (State Central Library, Hyderabad)

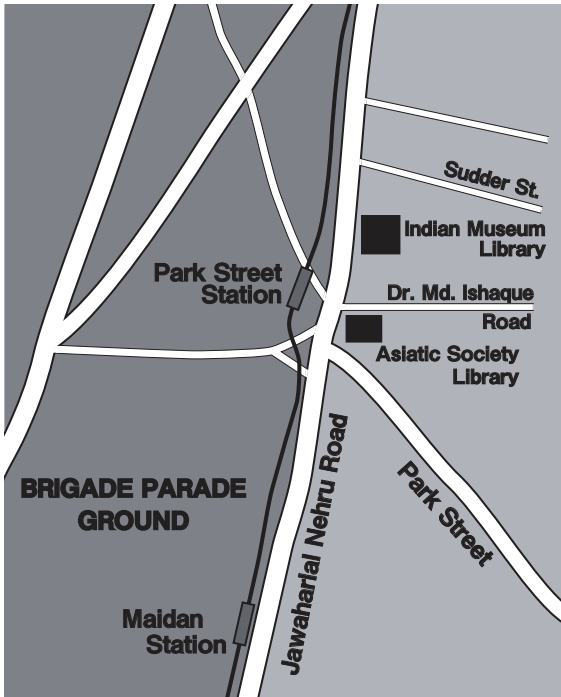
(8) サーラル・ジャング博物館付属図書館 (Salar Jung Museum Library)



※コルカタ

(13) アジア協会図書館 (Asiatic Society Library)

(14) インド博物館図書館 (Indian Museum Library)



(15) 国立図書館 (National Library)

